

20三道下 第682号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

三好町長 久野 知



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。

記

1 提出書類

- (1) 第1号様式
- (2) 第2号様式
- (3) 第3号様式
- (4) 第4号様式

担当 道路下水道課 富田
電話 (0561) 32-8022「直通」

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県 三好町

- 1 道路は、地域住民の生活及び地域経済、社会活動を支える最も基礎的な社会基盤施設であります。安全で安心できる地域社会の実現には地域住民共有の社会基盤である道路を計画的に整備・維持管理することが重要であります。
- 2 地域の産業の発展と地域の連携、通勤通学や日常生活の安全性と利便性の向上、福祉や緊急医療への対応などのために、国道、県道などの幹線道路から町道をはじめとする生活道路に至るまでの体系的な道路整備が急務であります。
- 3 国においては、地方の実情や意見を十分に踏まえ、必要な道路整備及び維持管理を計画的に進めるための道路整備財源の安定的確保と地方財源の充実強化を図るとともに、新たな道路整備計画にあたっては、地方の遅れている道路整備状況を踏まえ、地域の行政を担っている地方自治体の意見を十分反映させ、地方が真に必要としている道路整備を着実に推進されることを強く要望します。

○現状

- 1 本町の地勢は南北に細長く東西軸に比べ南北軸は非常に重要な路線です。特に南北を縦断する唯一の主要地方道豊田知立線は東名高速道路の東名三好インターチェンジ開設以後、慢性的かつ深刻な交通渋滞を招いている。
- 2 町全体では、比較的東西方向の道路は充実しているが、南北方向の道路が不足している。
- 3 都市計画道路上伊保知立線や国道153号を補完する道路整備が十分でない。
- 4 町北部から豊田市拳母地区への流動に対応する道路計画が不十分である。
- 5 災害時など、緊急輸送道路の安全確保のため、橋梁の耐震補強を行うとともに、経年的に劣化する橋梁に対して適正な点検、維持管理が必要ですが事業量が多くなかなか進まないのが現状です。
- 6 生活道路は、土地区画整理事業にあわせ自転車、歩行者道路を整備するとともに、狭い道路で交通量の多い危険な通学路には歩道を設置し、歩車道分離による歩行者の安全確保が必要ですが、整備が遅れているのが現状です。

○課題

- ・都市計画道路上伊保知立バイパス線、町道三好ヶ丘駒場線の南北軸路線の早期整備を図るとともに主要幹線道路との広域ネットワーク化を図る必要がある。
- ・都市計画道路は、要整備量が多いため事業推進の割に進捗率に大きな伸びがないのが実情です。
- ・道路整備は、区画整理などの開発関連の事業が優先となっていますが、三好の中心市街地においても安全に配慮した道路整備を平行して推進する必要があります。
- ・道路の安全、安心な利用のためには、年々劣化する舗装の適切な維持管理が必須となっています。歩行者が、安全、安心して歩くことのできる歩道の段差解消など、人にやさしい歩道の整備が必要です。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

愛知県 三好町

◎本町では、歩行者・自転車・自動車・公共交通などそれぞれの交通手段が共存でき、三好町に住む人、訪れる人、すべての人にやさしい交通環境の実現を目指して平成19年3月に「三好町交通基本計画」策定しました。本基本計画の基本理念を「安全・安心・便利な交通が継続するまち」「人が優先された交通環境へ」として位置づけております。また、基本方針として以下の4点を定め、より望ましい交通環境の実現を目指します。

- ①だれもが利用しやすい交通施設の整備
- ②公共交通の利用促進
- ③道路ネットワークの強化
- ④協働による交通施策の推進

③道路施策の重要事項(代表事例、期待する効果や評価等)

愛知県 三好町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性・利便性の向上 ・地域活力の向上 ・バリアフリー社会の形成	・本町の道路で南北を縦断する唯一の主要地方道豊田知立線は東名高速道路の東名三好インターチェンジ開設以後、慢性的かつ深刻な交通渋滞を招いている。都市計画道路上伊保知立バイパス線の早期開通は町民の強い願いであります。 ・都市計画道路蜂ヶ池線は三好の商業施設の核と住居地域を結ぶ中心市街地を形成するには不可欠の重要路線です。	・上伊保知立バイパス線の開通により、既存集落内の通過交通は減少が予想されます。これにより、集落内の交通渋滞の緩和はもとより小、中学生の通学路としての安全も図られる。 ・商業施設の核と住居地域を安全・安心に結ぶ路線として期待される。 ・歩道整備にバリアフリーはもとよりユニバーサルデザイン、景観に配慮した道づくりにより誰もが安全安心な道が期待できる。併せて、小中学生の通学路としての安全も図られる。	